

こちらは防災こしがやです

令和3年4月1日から

防災行政無線が新しくなります

本市の防災行政無線は、昭和59年に初期整備を行いました。今日まで、災害時の緊急情報や平常時のお知らせの伝達など、さまざまな役割を果たしてきました。

このたび、電波法関係法令の改正により、国を挙げて「防災行政無線のデジタル化」が進められています。

今号では、防災行政無線がデジタル化によってどう変わるのか、また、市が同時に進めている、より効果的な情報伝達への取り組みを紹介します。

〈問合せ〉市民協働部危機管理課 ☎963-9285
(令和3年4月から、危機管理室に変わります)

皆さんの
命と財産を守る
ために放送して
います

スピーカーの見直し

■スピーカーの配置

本市の人口は、現在の防災行政無線が配備された時期の約24万人（昭和59年4月1日時点）から、約34・5万人（令和3年2月1日時点）と増加しています。これに伴って大きな建物が増えたほか、住宅地の範囲拡大や密度の上昇により音声が小さい、逆に大きすぎるといった声が寄せられるようになりました。

そこで音声到達範囲の均一化を図るため、市内全体でのスピーカーの配置の見直しを行いました。

■新型スピーカーの導入

スピーカーは、音で情報を伝えるものであることから、近くでは大きく聞こえ、離れるほど小さくなっていきます。その対策として、スピーカー直下の音量を抑えつつ、離れた場所に音声が届く高性能の新型スピーカーを導入しました。

新旧のスピーカーの違い

〔新型スピーカー〕音の広がり方イメージ

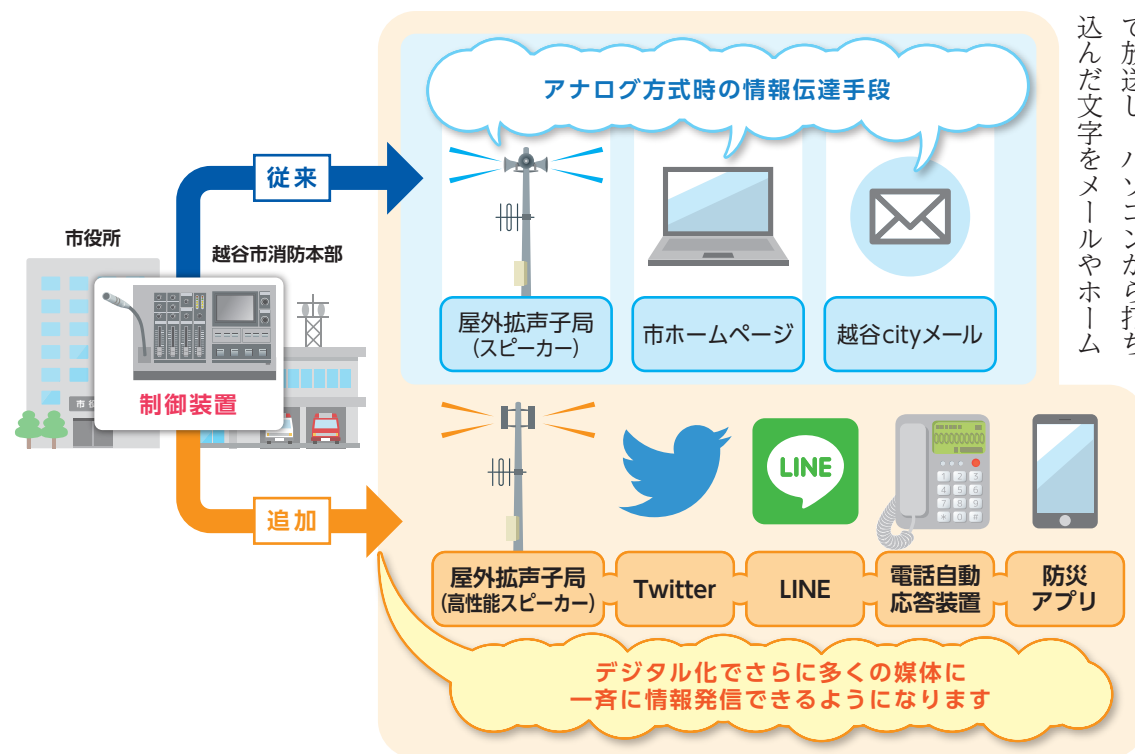


〔従来型スピーカー〕音の広がり方イメージ



各種情報伝達手段との連携

これまでのアナログ方式の防災行政無線では、マイクから吹き込んだ声をスピーカーで放送し、パソコンから打ち込んだ文字をメールやホーム



デジタル化の推進

防災行政無線は「電波法」に基づいて運用しています。この電波法の関係法令が改正されたことにより、既存のアナログ方式の設備が、令和4年（2022年）11月30日をもって使用できなくなりま

防災行政無線の果たす役割

日本は、これまで地震や台風・豪雨・津波など多くの災害に見舞われてきました。近年でも、東日本大震災（平成23年3月）や西日本豪雨（平成30年7月）など、多くの災害が発生しています。

災害が発生した場合、災害の規模や災害現場の位置、状況を把握し、いち早く正確に地域に伝達するツールとして重要な役割を担ってきたのが防災行政無線システム（放送局と屋外スピーカー設備）で

なぜアナログ方式が使えなくなるの？
電波は有限で譲り合って使うもの

テレビ放送や携帯電話など、さまざまな通信で使われている電波ですが、一定の周波数内で使用しなければならぬと法律で定められています。

電波法の改正はこの周波数を細分化し、より多くの機器・用途に利用できるようにするために行われました。狭まった周波数内に、小さいデータ量でこれまでと同様か、それ以上の情報を送るため、デジタル方式への移行が必要となったのです。

今回のデジタル化整備工事では、利用する電波方式を更新するだけでなく、災害時の情報の取得性をよりよくするため、デジタル方式の特性を生かし、放送の音質の向上や、災害時の配信手段の多重化を図ります。

避難所 Wi-Fi を設置します

災害時は、ご家族や知人との連絡、情報収集などに SNS 等インターネット回線の利用の増加が予想されます。

皆さんが利用されているスマートフォンやタブレットの通信量が上限に達した場合等に備えて、市内の一部の指定避難所と市役所に、平時から使えるフリー Wi-Fi を設置します。

詳しいご利用方法は右記の URL から市ホームページをご覧ください (<https://www.city.koshigaya.saitama.jp/saigai/wi-fi/index.html>)

設置場所		
桜井地区センター	出羽地区センター	越ヶ谷地区センター
新方地区センター	蒲生地区センター	南越谷地区センター
増林地区センター	川柳地区センター	北越谷地区センター
大袋地区センター	大相模地区センター	総合体育館
荻島地区センター	大沢地区センター	市役所

▶ **防災行政無線の受信**

ホーム画面から「防災行政無線」ボタンを押すと、今までの放送が表示されます。文字で表示されるほか、再生ボタンを押すことで、音声で確認することもできます。



スマートフォンアプリ「防災こしがや」は、防災行政無線の放送の受信や、指定避難所の案内機能が利用できます。また、気象情報やハザードマップの閲覧もできるので、災害時だけでなく、平常時も活用いただけます。

今回は主な機能の一部を紹介します。下記の二次元コードからアプリの紹介のホームページにアクセスできますので、ぜひダウンロードして実際にお試ください。



市公式ホームページ

▶ <https://www.city.koshigaya.saitama.jp/>

災害など、緊急でお知らせする内容がある時は、「災害・緊急情報」で随時お知らせします。



市公式 twitter

アカウントは@citykoshigaya
▶ <http://twitter.com/citykoshigaya>



スマートフォンアプリ「防災こしがや」

防災行政無線の放送を受信するだけでなく、ハザードマップや避難所案内の閲覧、安否確認システムが利用できます。アプリの便利な機能を左のページで紹介します。



LINE 公式アカウント

LINEアプリを導入後、「友だち追加」してください。



越谷cityメール、twitter、LINE、防災アプリの登録料は無料です。
*通信料は利用者負担

電話自動応答装置

指定の電話番号で、放送内容を聞くことができます。固定電話、携帯電話のどちらからでもご利用いただけます。

*電話番号は広報こしがやお知らせ版4月号でお知らせします

越谷 city メール

▶ <https://citymail.city.koshigaya.saitama.jp/koshigaya/>

災害情報だけでなく、イベント情報など、5種類の配信内容から選んで受信することができます。



(株)ジェイコム埼玉・東日本 音声告知端末

ケーブルテレビの通信網を活用して、防災行政無線の放送を音声で確認ができます。

* (株)ジェイコム埼玉・東日本が展開する有料のサービスです。運用開始時期など、詳しくは (株)ジェイコム埼玉・東日本にご確認ください

(問合せ)

J:COMカスタマーセンター
☎0120-999-000

安否登録

▶ 安否情報の登録や検索ができます

キャンセル 安否登録 編集

現在地の安否情報を登録

安否情報を登録

Googleバーソファインダーに送信します。

名前 ○○○○

性別 男性

安否の状態

避難所に向かっています。

有効期限(この記録をいつ削除するか)

約1か月(30日)後

現在の緯度経度

35.891083,139.790939

テキスト入力が可能です。(最大255文字)

▶ **その他の機能も**

ほかにも、気象情報の受信や、安否確認機能などさまざまな機能が搭載されています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

避難所案内



▶ カメラの向けた景色に重ねて指定避難所の位置や、浸水想定深さの目安が表示されます

ハザードマップ



▶ 避難所マップにハザードマップを重ねて閲覧することができます

▶ **ハザードマップの閲覧**

避難所検索機能で表示した地図画面で、「ハザード」ボタンを押すと、ハザードマップを重ねて表示することができます。洪水ハザードマップを表示しているときに、さらに「情報表示」ボタンを押すと、画面の中央に表示されている地点の予想される浸水深も確認することができます。